

製品名: FGF-17 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10925**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	25kDa

抗原情報

遺伝子名	FGF17
別名	FGF17; Fibroblast growth factor 17; FGF-17
遺伝子 ID	8822.0
SwissProt ID	O60258
免疫原	抗血清はヒト FGF17 の C 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 267-216

背景

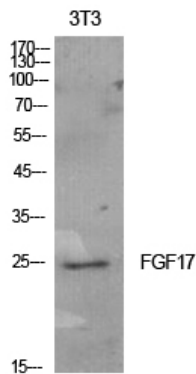
この遺伝子は、線維芽細胞増殖因子 (FGF) ファミリーのメンバーをコードしています。FGF ファミリーのメンバーは、広範な分裂促

進作用および細胞生存活性を有し、胚発生、細胞増殖、形態形成、組織修復、腫瘍の増殖および浸潤など、様々な生物学的プロセスに関与しています。このタンパク質は胚発生期および成体の小脳および大脳皮質で発現し、血管の成長と正常な脳の発達に必須であると考えられます。この遺伝子の変異は、嗅覚障害の有無にかかわらず、低ゴナドトロピン性性腺機能低下症 20 の原因となります。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2015 年 1 月]、発生段階: E14.5 の胚で検出されますが、E10.5 および E19.5 では検出されません。E14.5 の胎児脳の峽部および隔壁の神経上皮で優先的に発現する。機能:胎児脳の誘導およびパターン形成におけるシグナル伝達分子である可能性がある。類似性:ヘパリン結合成長因子ファミリーに属する。組織特異性:胎児脳で優先的に発現する。、

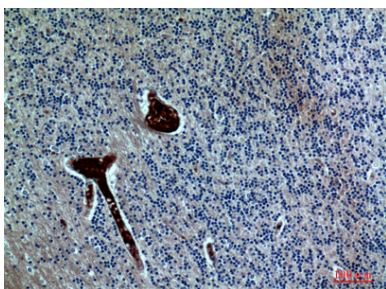
研究分野

MAPK_ERK_Growth;MAPK_G_Protein;アクチンと細胞骨格を制御;がんの経路;黒色腫;

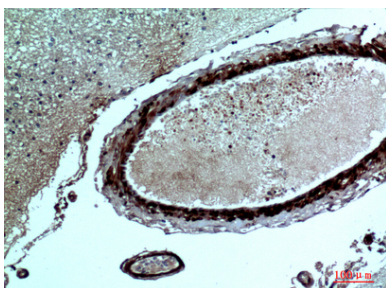
画像データ



FGF-17 ポリクローナル抗体を用いた NIH-3T3 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された